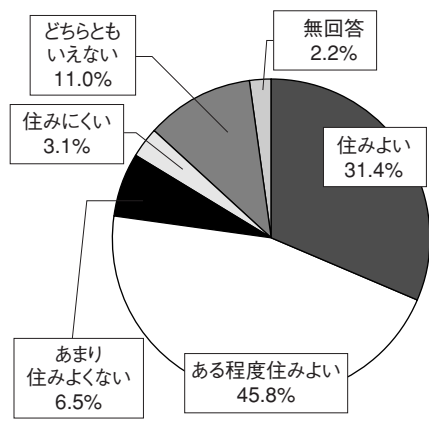


# アンケート結果

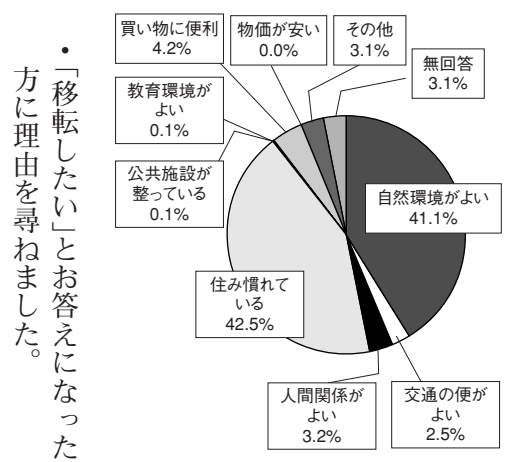
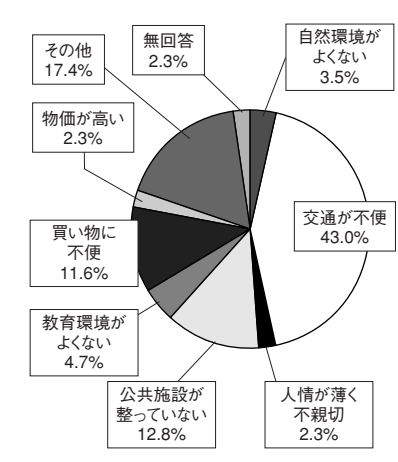
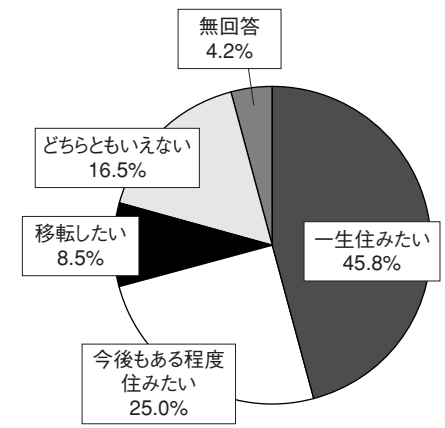
## 1 嵐山町の住みよさについて

77・2%の方が嵐山町は住みよさと回答しています。  
年齢別で分析すると、年代が高くなっていくにつれ、「住みよさ」が高くなっていく傾向がありました。20歳代では65・8%の方が住みよいと回答しています。  
地区別では、千手堂地区の「住みよさ」が最も高く、次いで遠山地区となっていました。



## 2 定住志向について

70・8%の方が定住志向があるという結果になっています。年齢別では、「住みよさ」と同様、年代が高くなるにつれ「定住志向」も高くなっています。一方、「移転したい」は20歳代の方が34・2%となっています。

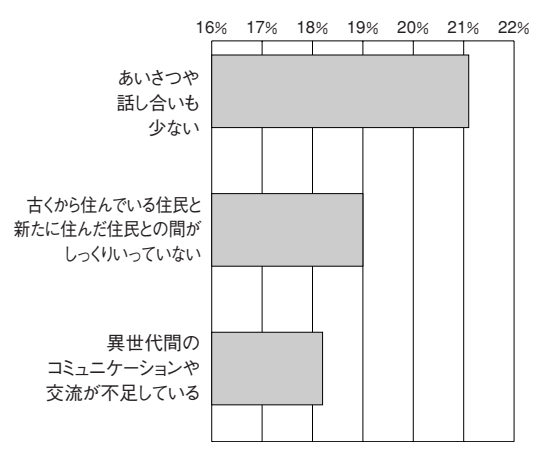


「一生住みたい」、「今後もある程度住みたい」とお答えになった方に理由を聞きました。

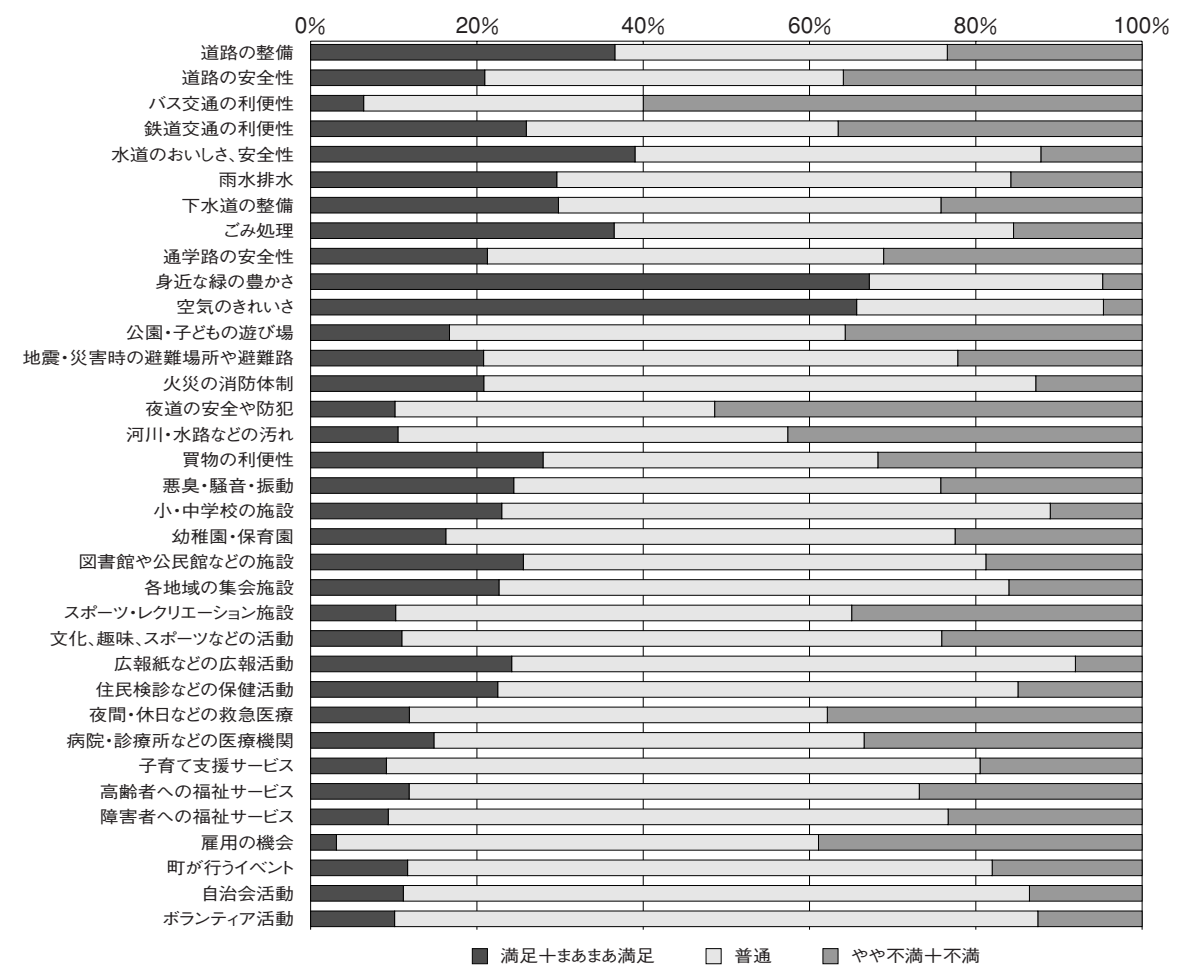
町では、第5次嵐山町総合振興計画を策定するにあたり、町民の皆さんの町政に対する意向等を把握するため、本年5月にアンケートを実施しました。このアンケート結果を報告します。ご協力を頂き誠にありがとうございました。

## 3 住みよくなるための障害について

35%の方が地域を住みよくなるための活動の障害があると回答しました。その理由として「あいさつや話し合いが少ない」や「古くから住んでいる住民と新たに住んだ住民がうまくいっていない」、「異世代間のコミュニケーションや交流が不足している」などが多く挙げられました。



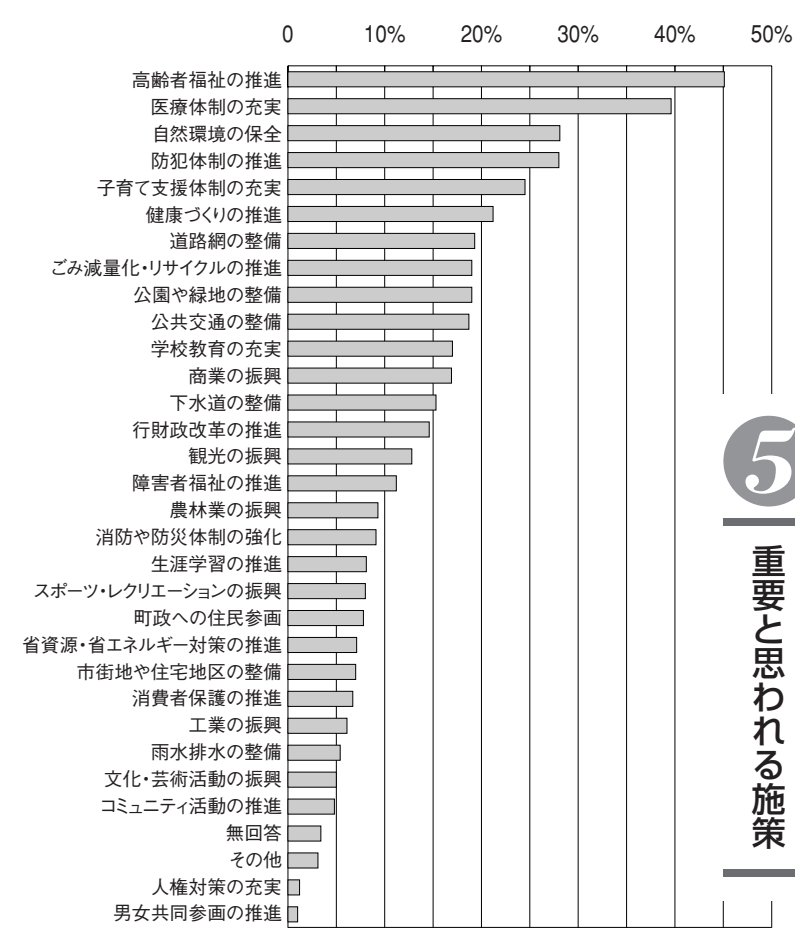
## 4 住んでいる地域の環境について



満足度が高かったのが、「身近な緑の豊かさ」と「空気のきれいさ」です。満足度が高かったのが「バス交通の利便性」と「夜道の安全や防犯」などでした。

重点施策をお聞きしたところ、「高齢者福祉の推進」が多くなっていました。年齢別で分析すると、20歳代及び40歳代が「医療体制の充実」、30歳代が「子育て支援体制の充実」が高くなっていました。

## 5 重要と思われる施策



調査対象 20歳以上の町民2,000人 (うち送付不能数8)

回答総数 1010人 (回収率50・7%)

内訳 男 438人 女 494人 無回答 78人